シリーズ人権教育

「あなたのフォロワーになりたい」

携帯が鳴りました。画面を見ると知らない番号だったので、おそるおそる出てみると「先生、お久しぶりです。」中学校の教え子、Mさんからでした。彼女は当時私が顧問をしていたバレーボール部のキャプテンで、エースとして活躍していました。用件は、久しぶりにバレー部のメンバーで集まるので来てください、というお誘いでした。何とかして行きたかったのですが、すでに外せない予定が入っていることを伝えると「じゃあ、メッセージの動画を撮りに行っていいですか。サプライズでみんなに見せたいので。」「もちろんいいよ。」時間と場所を約束して電話を切りました。

数日後、駅の近くの喫茶店で待ち合わせをしました。数年ぶりに見る彼女は、大人びてはいたものの、短髪で活発な印象は当時のままでした。彼女は席に着くなり、やや神妙な面持ちで話し出しました。「親しい友だちには話したけど、先生にも話しておきたくて…。実は、今、僕、男として生きてるんです。高校卒業と同時に、親にも伝えて、大学からは男として生活しています。お母さんはわかってくれたけど、お父さんはまだあかんみたい。」

突然のことで私は言葉につまり、相づちをうつのが精いっぱいでした。

今は他県の大学に通っていて久しぶりに帰省していること、大学ではセクシュアルマイノリティのサークルに入って活動していることなどを、自分のツイッターを見せながら話してくれました。話を聞きながら私は、Mさんの突然のカミングアウトにどんな言葉を返そうか、返せるのかをずっと悩んでいました。

「正直、何て言ったらいいのかわからんけど、中学校の時からしんどい思いしてたんやろ。先生が気づいて相談にのれたらよかったんやけど、ごめんな。でも、大切なこと話してくれてありがとう。」

「いや、中学までは他の子と何かちがうなぁくらいにしか思ってなかったから。スカートはくのと、プールの授業は嫌やったけど。高校の保健室の先生がすごく話しやすい先生で、LGBTの本を貸してくれたり相談にのってもらったりしました。自分でもネットで調べたりするうちに、だんだん自分のことや同じように悩んでいる人が他にもいることがわかって、だいぶ楽になりました。」私はMさんがよき理解者と出会えたことを心の底からうれしく思いました。その後、当時の思い出話で盛り上がり、メッセージの動画も撮り終えて店を出ました。

「先生、お元気で。また連絡します。ツイッター、フォローしてくださいね。」「ありがとう。Mさんも元気でね。みんなによろしく。」そう言って別れました。

当時の私は、そのような生徒がいることなど想像もしていませんでした。「誰もがチームの大切な一員だ。」などと言いながら、知らず知らずのうちに傷つけるような発言をしていたかもしれません。Mさんが地元を離れ他県の大学に行ったのは偶然なのだろうか、お父さんとの関係はこの先どうなるんだろうか。自分の無知と配慮のなさを反省しつつ、Mさんのこれまでの悩みや戸惑い、生きづらさを想像しながら帰路につきました。

近年、LGBTなどセクシュアルマイノリティのことをメディアで目にする機会が増えました。ある調査によると人口の5~8%がいずれかのセクシュアルマイノリティとも言われています。あれから私も研修会に参加して当事者の方の話を聞いたり、本やインターネットで調べたりする中で、改めて、自分の周りにいないのではなく言い出せないということ、言えないような社会にしているのは私たちだということ、見ようとしないと見えてこない課題があるということを感じています。

私にできることは限られていますが、これからもMさんとつながりを持ち続けたいと思います。まずは、「彼」のツイッターを見ることを日課に、フォロワーとなることから始めています。

LGBTとは、

L…レズビアン	心の性が女性で恋愛対象も女性
G…ゲイ	心の性が男性で恋愛対象も男性
B…バイセクシュアル	恋愛対象が女性にも男性にも向いている
T…トランスジェンダー	「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人

の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることもあります。

※LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・わからない人など、様々な人々がいます。（法務省人権擁護局「LGBT」ホームページより）

問合せ先　人権教育課　☎077-528-4592